

今村復興大臣岩手県知事との意見交換後記者会見録
(平成28年8月6日(土) 1055～1103 於) 岩手県庁1F県民室)

1. 発言要旨

今日は、復興大臣を拝命いたしまして、とにかく現地に行こうということで、土曜日にもかかわらず、達増知事のお出迎えをいただきまして、本当にありがとうございます。短い時間ではありましたが、有意義な時間であったというふうに思っております。今後ともしっかりと頑張ってまいります。よろしくお願いします。

2. 質疑応答

(問) 冒頭で、大臣と知事双方、御挨拶をなさったわけですが、マスコミが退出しましてからのお話ですが、大臣からはどのようなお話をされ、また、知事からはどのようなお話があったのでしょうか。

(答) まず、部屋を見まして、「随分、和の空間ですね」ということでお話をしました。そうしたところで、実はこの県庁の建物も非常に丈夫にできているというようなことから始まって、そしてとにかく5年たって、今、折り返し地点に来ている。岩手県は、もう頑張っただけでかなり先を走っているというような話もあるようであるけれども、まだまだ問題は残されているし、しっかりやっていきたいと思います。そして、復興前に戻るだけじゃなくて、さらにその上をいくような、高みを目指していこうじゃないですかと。それが大きな全体のエネルギーになっていくというような話をしたところであります。

(問) 東日本大震災の主な被災地としては、岩手、宮城、そして福島と3県があるわけですが、こと岩手に関してはどのような方針で復興に取り組むおつもりですか。

(答) 本当に大変な被災をされたわけですが、にもかかわらず、本当に頑張っていて、たくましく復興の槌音が響いてきたというふうに思っています。

いろんな意味で、インフラ整備は進んでいると思いますが、まだまだこの住宅の問題でありますとか、それからなりわいの再生、強化ですね。そういったところに更に力を入れていくということが必要なのではないかと、このように思っています。

(問) 達増知事の方から、平成29年度の政府予算編成に関して要望があったと思うのですが、これに対して、今村大臣はどのようなお考えでしょうか。

(答) ここに要望書がありますが、しっかりと受け止めて、もちろん

やりますよと。そして、今度の発足した内閣の基本方針の中に、いの一番に東北の復興、再生というのを挙げてあるんですよ。だから、そういうところ含めて、是非総理の意気込み、そしてまた、それに対して私に対して、「頼むぞ」という気持ちがしっかり伝わっておりますから、全力を挙げて知事の要望に応えていきたいというふうに思っております。

(問) 先ほど大臣、挨拶の中で、現場主義ということをおっしゃっております。その点としまして、被災地としましては、やはり大臣がほぼ1年単位で替わっていくことに対する不安と、あと続けて西日本というか、被災地以外の方が大臣になることへの不安というか、力を本当に注いでもらえるのかという不安があるのですが、その点に関して大臣はどのようにお考えですか。

(答) 確かに大臣がちょっと替わり過ぎという批判、これは素直に受け止めたいと思います。

しかし、また逆の意味で言えば、大臣をやることによって、正に応援団を増やすという面もあると思います。それから、もう1つ、被災地の出身じゃないということではありますが、これはある意味で私はオールジャパンでこの問題は取り組んでいかなければいけないわけですから、東北の人がやるのがいいのかもしれませんが、それだと東北だけでちんまりとしたことになってしまって、もうそれはかえってまずいんじゃないかなと。むしろ、九州からでもこうやって、応援でやるんだと。そして、また私の地元の人も、今まで東北は大体これであまくいっているというふうに思っていた人も、今度私が大臣になったことで、いろいろ情報を聞くわけですね。そうしたら、とにかく一世一代の仕事だと思って頑張ってくれと。自分たちもまた改めてしっかり応援するからという声を頂いております。

ですから、被災地じゃないから云々というのは、むしろ逆に繰り返しになりますが、オールジャパンでやっていくんだということで、私はむしろいいんじゃないかなというふうにも思っております。

(問) 大臣、先ほど、なりわいの再生、強化にまず取り組んでいきたいということをおっしゃられましたが、なりわいと言っても、数限りなく幅広いわけですが、特にまず力を入れたい部分、着手したい部分というのは、どのようなところでしょうか。

(答) いろんなものがありますが、特に岩手県で言えば、やっぱり農林水産業ですね。これは非常に、農業にも実は中山間地も多くて、大変かもしれませんが、それだけにまた、おいしいものができるわけですよ。そういうこととか、それから何ととっても、水産業ですよ。三陸沖というのは、世界で有数の漁場でありま

すから、これを更に充実、強化してやっていく。これは内閣の基本方針の中でも、農林水産物の輸出、そのためのいろんな基地の充実等々、全力を挙げて取り組むということで上がっております。

ですから、今までの復興するための漁港設備、そういったことに限らず、更に世界に向けて発信する、発信できる、そういった基地をつくっていかうではないかということで、是非その辺をしっかり取り組んでいきたいというふうに思っております。

また、製造業もいろいろあると思いますけれども、これはまたいろんなお力を借りてやってまいります。

最後に、1つだけ言わせてください。何と言っても、新日鉄釜石の話がありまして、今回のオリンピック絡みの話もありましたけれども、そのときに知事に言ったのは、やっぱり北の鉄人ですか。真っ赤なユニホーム。あの突進力を是非また続いて、これからの東北復興の牽引力、突破力の先頭に立ってやってくださいということできました。是非オリンピック絡みの話も頑張っていきたいというふうに思っておりますし、今度、担当大臣にもそれはお願いしようというふうに思っております。

どうか皆さん、よろしく願います。

(以 上)